

京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H26年6月14日（土）

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所の久保田信准教授による講義「宇宙のオアシス、地球とそこに現在生きる動物たち」と、徳山試験地内の自然観察が実施されました。18名の参加者の皆さんは、講義を熱心に聴講され、その後、専門員の解説を聞きながら森の中を散策されました。



実験所の研究データや写真を使って、分かりやすく講義されました。特にベニクラゲの生態については大変興味深いお話でした。



自然観察の様子です。



よい経験となりました